

うだちから かだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある
地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。
このコーナーでは、市が取り組む
「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
問 政策推進課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

①かき餅づくり

「おおつだ南部地域まち協」
懐かしい冬の風物詩の一つ、か
き餅づくりを行いました。こし
ばらくは、大勢で集まるのが難
しい時期がありましたが、4年ぶ



▲厚さを揃えるのが難しい！



▲ひもに吊るしたかき餅の前で記念撮影

域に息づく行事が、長く受け継が
れるよう、取り組んでいきます。

②初えびす出店

「宇陀松山まち協」
2月11日の宇陀初えびすには、
まち協では、今までは地域の活
性化事業として共催してしました
が、今回初めての試みとして、市
民ブースでの出店をしました。
品物は、大和当帰入りチヂミと
温かい飲み物。より良い味を求め
て、スタッフ全員で、食材の仕込
みなど試作試食会を数回実施し、
並々ならぬ情熱を傾けて準備怠り
なく当日を迎えました。おかげさ
まで、多くの方々にお買い求めし



▲大和当帰チヂミを作っています！



▲商売繁盛！

③宇陀市移動診療車 (UMC) の見学会を開催

「内牧地域まち協」
内牧地域では高齢化率が55%に
達しており、一人住まい世帯も増加
の傾向です。そのようななか、福祉
関連事業の取り組みのひとつとし
て、市で実施されている移動診療車
の見学会を2月22日にたかぎふる
さと館において、市役所および市立

病院の協力を得て開催しました。
見学会では、最初に、移動診療車
を導入された経緯や運用内容の説明



▲移動診療車導入の説明

を受けました。市内の開業医が少な
くなるなか、自宅近くまで来てくれ
る診療所として、令和4年5月か
ら大宇陀地域で運行されています。
診察だけでなくワクチン接種や検
診も実施されており、利用者満足度
は10点満点で8.7点という評価
を受けているとのことでした。
続いて、移動診療車の車内の見学
では、レントゲン撮影はもとより、
血液検査機器等の最新の検査機器
の説明を受けるとともに、参加者か
らの質問にも、担当されている方々
から答えて頂きました。
今回の参加者約50人へのアン
ケート結果によると、たいへん満足



▲移動診療車の車内見学

頂けた見学会でした。まち協として
も今後の生活しやすい地域づくり
を検討する良い機会となりました。

まち協などの催し予定 4月 (3月15日現在)

皆さんの参加をお待ちしています。

日	曜日	イベント案内	主催
7	日	濡れ地蔵・桜まつり 【場所】 榛原ふれあい広場 【時間】 10:30～15:00	東榛原まち協
13	土	政始桜まつり 【場所】 旧守道小学校運動場 【時間】 11:00～14:00	大宇陀政始まち協



「タラノキ」

「春の山菜の王様は？」と問えば、
人によってシオデやウド、オケラとい
る出る出てきます。しかし、私はタラ
ノキの新芽のタラの芽が一番ではない
かと思っています。
タラの芽は、北海道から沖縄までど
こでも採集できます。北海道のものは
アクが少なく苦味が弱く、太いの
に対して、南に下がるほど苦味が強く細
くなる傾向があります。

タラの芽の天ぷらは、嫌いと言っ
た人がいないほどおいしいものです。
ゆでた葉や芽の焼きみそあえ、ゆでた
葉を刻み込んで塩味を利かせたタラの
芽のご飯などを楽しみたいですね。
タラの芽は健胃、利尿剤となり、糖
尿病、高血圧、神経痛、リウマチ、胃
潰瘍などに効果があります。食べてい
ると胃腸を丈夫にし、消化を助け、便
秘を整える作用があります。



※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた
村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道遙(やくそうしょうよう) (つ)
毎回「薬草」に関する内容を連載でお届けする
コラムです。

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075